

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)
被災した仙台在住バイクレースー 須貝義行氏がスペシャルサポーターに！
～【ボラサポ助成】5月10日より第11次応募受付を開始～

社会福祉法人中央共同募金会(会長 斎藤十朗)が運営する、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)は、東日本大震災で被災された方々を支援するボランティア・NPO活動に対して行う助成事業です。

【仙台在住バイクレースー 須貝義行氏がボラサポを応援！】



仙台在住で、ご自身も東日本大震災で被災した須貝さんは、震災後個人的にボランティア活動を行っていました。その後、仲間から、「ボラサポの助成金に大変助けられている」という話を聞き、昨年の鈴鹿8時間耐久ロードレースではマシンにボラサポのマークをつけて完走。今シーズンは「東北の復興を願い、支援してくれている人とともに走りたい」と参戦するすべてのレースにボラサポマークをつけて挑みます。そんな須貝さんがボラサポのスペシャルサポーターに就任していただきましたので、メッセージをご紹介します。(次項をご覧ください)

◆スペシャルサポーター特設ページ <http://www.akaihane.or.jp/er/p10.html>

ボラサポスペシャルサポーター(50音順):

池上彰さん(ジャーナリスト)、石川さゆりさん(歌手)、大日方邦子さん(パラリンピックアルペンスキー金メダリスト)、木村多江さん(女優)、多部未華子さん(女優)、福原愛さん(ロンドンオリンピック卓球・女子団体銀メダリスト)

【ボラサポ助成 第11次の応募受付を開始】

支える人を支える「支援金」への寄付額が全体的に減少し助成が終了するプログラムもある中で、ボラサポは助成を継続しています。5月10日からは第11次の応募受付を開始しました。受付は24日まで。前回も400件近い応募が寄せられており、ボラサポへの強い期待が伺えます。第11次の助成額は1億7千万円程度で、決定は8月下旬の予定です。

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(愛称:ボラサポ)とは?

東日本大震災の被災地における支援活動には、ボランティアグループやNPOが大きな役割を果たします。こうした活動を資金面で支援するため、赤い羽根の中央共同募金会では、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)を運営しています。ボラサポは、2015年3月までの約4年にわたり、被災地での支援活動を支えます。

ボラサポ募金 & 助成情報(4月30日現在累計)募金総額: 4 1 億 2 0 7 0 万円 助成実績: 2 7 億 9 7 6 6 万円

★助成決定内容・団体自身による活動レポートは中央共募ホームページをご覧ください

<http://www.akaihane.or.jp/er/p3.html>

★助成応募しやすい助成金です: 5名以上のグループで活動した場合は助成対象となるなど、非常に助成申請しやすい支援金です。また、支援活動をマネジメントする専門的な人材への人件費も助成対象となり、被災地での活動を全面的に支えます。

●お問合せ・詳しい資料は: 社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部 担当: 仲本・城(じょう)まで
TEL: 03-3581-3846 (FAX: 3581-5755) kikaku@c.akaihane.or.jp ホームページ www.akaihane.or.jp
ボラサポ公式Facebookページ www.facebook.com/borasapo

【須貝 義行(すがい よしゆき)氏プロフィール】



生年月日 : 1966年5月19日(46歳)
身長 : 171cm 体重57kg
出身地・在住 : 宮城県仙台市
レース歴 : 28年目

世界GP参戦経験があり、抜群のスピードと安定感を併せ持つ。
インストラクター歴も長く、経験に基づいたテクニックと的確なアドバイスには定評がある。

MFJ 公認インストラクター。
ブリヂストン走行会、ドウカティ1098発表会、ライディングスポーツ誌レーシングスクール、ツインリンクもてぎ、筑波サーキット、スポーツランド SUGO の国際格式のサーキットでもアドバイザーを務める。

◆須貝義行氏からのメッセージ

私は宮城県仙台市で生まれ育ち、現在も仙台を拠点に活動するオートバイのレーシングライダーです。宮城県は地震が多い地域ですから、子供の頃から過去の地震や津波で起きた事を聞いて育ちました。しかし、東日本大震災で受けた甚大な被害は、想像出来るような範囲のものではありませんでした。多くの方々の命が失われ、家屋や車が流されてドロドロの泥にまみれてしまった様子を見た時、この地ではこれから数十年は普通の生活を送ることが出来ないだろう、と思ったことを覚えています。

本当に少しずつ、先の見えない中からの復興と言う状況でしたが、多くの方々のご協力のおかげで、素晴らしく復興が進みました。以前の生活を取り戻している地域も多いです。しかし、復興活動の全てがバランス良く進んだと言えない面も感じています。

私はレースで全国のサーキットを転戦しますが、その中で会う方々から、被災地に対するイメージも良い事ばかりが大きく受け止められているようにも感じています。被災地に住む者として伝えたいことは、未だにしっかりと立ち上がれていない現実が多く存在すること。まだまだ被災地は多くの方々の力を必要としていることを多くの皆様に知って欲しい、ということです。私はレース活動を支えてくれる仲間からボラサポの存在を知り、もっと多くの方々に知って欲しい活動であると感じました。

しっかりとした理念を持つ、信頼出来るボラサポの継続的なサポートは本当に素晴らしいことであると思います。私も、今シーズン、ボラサポのマークとともに全レースに挑みます。被災地に住む我々は、全力で頑張ります。負けません。全国の皆様、ボラサポの活動への理解と応援を是非お願いします。どうか、力を貸してください。